

製品名: CDK9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80987**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK9
別名	TAK; C-2k; CTK1; CDC2L4; PITALRE
遺伝子 ID	1025.0
SwissProt ID	P50750
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDK9 の精製された組み換え断片。

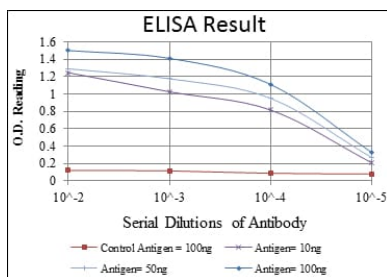
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性タンパク質キナーゼ（CDK）ファミリーのメンバーです。CDKファミリーのメンバーは、*S. cerevisiae* cdc28 および *S. pombe* cdc2 の遺伝子産物と非常に類似しており、重要な細胞周期制御因子

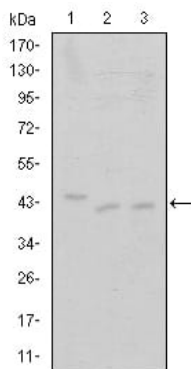
として知られています。このキナーゼは、RNA ポリメラーゼ II を介した転写の伸長因子であり、RNA ポリメラーゼ II の最大サブユニットの C 末端ドメインをリン酸化することで機能する、多タンパク質複合体 TAK/P-TEFb の構成要素であることがわかりました。このタンパク質は、その制御サブユニットであるサイクリン T またはサイクリン K と複合体を形成し、制御されます。HIV-1 Tat タンパク質はこのタンパク質およびサイクリン T と相互作用することが判明しており、このタンパク質が AIDS に関与している可能性が示唆されました。(RefSeq 提供) 組織特異性: 普遍的。

研究分野

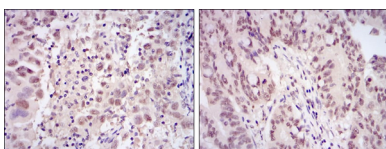
画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



Jurkat (1)、A431 (2)、HEK293 (3) 細胞溶解物に対する CDK9 マウス mAb を用いたウェスタンブロット解析。



DAB 染色による CDK9 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織 (左) と直腸癌組織 (右) の免疫組織化学分析。